2023 年 2 月

関西学院千刈キャンプの新型コロナウイルス対応ガイドライン

関西学院千刈キャンプ

このガイドラインは、関西学院千刈キャンプを安全に運営するための指針を示すため、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、一般社団法人日本旅館協会および一般社団法人全日本ホテル連盟が共同で作成した「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（第 3 版）」（2022 年 12 月 6 日一部改訂）、および公益社団法人日本キャンプ協会安全対策委員会が作成した「キャンプ開催・実施時の感染防止策チェックリスト（主催者向け／参加者向け）」（2021 年 7 月 1 日）を参照の上策定しました。

関西学院千刈キャンプは、利用者（キャンパー）および千刈キャンプスタッフの安全と健康に配慮し、キャンプ場において当面の期間、以下の対策を実施します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況により営業中止、営業制限または営業時間の変更等、当初予定していた営業内容を変更する場合があります。

１．千刈キャンプが留意すべき感染防止のための基本原則

（１）3 密（密閉、密集、密接）を避けるため、キャンパー同士、またキャンパーとスタッフとの距離を充分確保します。（できるだけ２ｍを目安に最低１ｍ）

①キャンパーから相談を受ける際は、間隔をあけて対応します。

②状況に応じて、センター棟の入場規制をさせていただく場合があります。

（２）消毒・清掃を強化します。

①入口及び施設内に手指消毒用アルコールを設置します。

②カウンターや机やドアノブ等は定期的に消毒します。

③センター棟の研修室等は定期的に換気します。

④建物施設（新キャビンや旧キャビン等）の清掃時には、充分な換気を行い、通常の清掃に加えて消毒を強化します。

（３）スタッフの健康管理を徹底します。

①感染防止のため、スタッフのマスク着用を徹底します。

②全てのスタッフは、出勤前の検温とその記録、定期的な手洗い・消毒を遂行します。

２．各エリアでの感染防止のための留意点

（１）研修室、キャビン、ホール、チャペル、トイレ等施設

①消毒用アルコールを設置します。

②研修室ご利用時など、必要に応じて二酸化炭素濃度計を貸し出しますので換気にご留意ください。

（２）食堂

①入口で混雑時は入場制限を行います。

②入室前のアルコール消毒、マスク着用をお勧めします。

③換気を徹底します。

④提供料理は原則として個盛り提供とします。

⑤提供ラインに消毒用アルコールを設置します。

⑥食事開始までのマスク着用、食後の速やかなマスク着用をお勧めします。

⑦食事中の会話はできるだけ控え、黙食していただくことをお勧めします。

⑧パーティションの設置がない場合は、真正面に着席することはできるだけ避け、対人距離１ｍを取って利用いただくことをお勧めします。

⑨他のグループとはできるだけ２ｍを目安に最低１ｍの間隔が空くように工夫します。

（３）大浴場、小浴場

①脱衣場、浴場での会話はできるだけ控え、１ｍの対人距離を取って利用いただくことをお勧めします。

３．利用者（キャンパー）に遵守いただくこと

（１）各地方自治体からの情報を確認の上来場してください。

（２）発熱、咳等の症状がある方、体調に不安のある方は来場を控えてください。

（３）定期的に手洗いを励行し、アルコール消毒をしてください。

（４）キャンプ場内で唾や痰を吐くことは行わないでください。

（５）センター棟等の建物施設をご利用の際には、極力マスクを着用してください。
但し、マスクを着用することによって熱中症などのリスクが高まってしまうような場合を除きます。

（６）キャンパー同士の１ｍの対人距離（できるだけ２ｍを目安に最低１ｍ）の確保にご協力ください。

（７）スタッフとの打ち合わせの際は、間隔をあけて対応させていただきます。

（８）センター棟等の建物施設は定員以内で利用してください。定員超過となる場合は、入室制限をする場合があります。

（９）キャンプ実施にあたっては、公益社団法人日本キャンプ協会安全対策委員会作成の「キャンプ開催・実施時の感染防止策チェックリスト（参加者向け）」を参照し、感染防止に努めてください。

＜参照＞　**公益社団法人日本キャンプ協会** https://camping.or.jp/

▸「キャンプ開催・実施時の感染防止策チェックリスト(主催者向け/参加者向け)」(2021/7/1)

４．安全にキャンプ体験をしていただくために

（１）参加定員を見直し、密にならない人数に制限させていただく場合があります。

（２）使用する道具は使用前、使用後に消毒を行います。

（３）受付時の検温と手指消毒にご協力をお願いします。
（検温で 37.5°を超えた方のご参加はお断りいたします。）
（４）参加時はマスクのご持参、着用にご協力ください。

５．千刈キャンプ利用中にコロナ感染が疑われた場合

コロナ感染拡大防止対策の観点から、千刈キャンプ利用中に体調が思わしくない方が発生した際、当該利用団体の責任において適切に対応してください。千刈キャンプでは待機場所を確保しますが、医療機関への搬送あるいは自宅への帰還、保健所との対応等について、適切にかつ速やかに進めてください。

６．キャンプ用品の利用貸出

キャンプ用品の貸出を再開しますが、コロナ感染防止強化のため利用者自身でキャンプ用品を持ち込むことを推奨します。キャンプ用品を通じてコロナ感染が疑われた場合、当キャンプでは責任を負いかねますので、各利用団体の責任で対応してください。

７．その他

（１）キャンパーケアをする際は、スタッフはキャンパーと１ｍの対人距離を確保します。
但し、プログラムの内容などにより距離を保てないケアは控えさせていただきます。
［注］キャンパーケアの一例
・スタッフ（学生リーダー）によるキャンプファイヤーのサポート
・スタッフ（学生リーダー）によるゲーム指導

以上